令和6年度

障害者支援施設等における事故報告

集計結果

Ⅰ　令和6年度の状況
- 1 事故の内容
- 2 事故の月別発生件数
- 3 事故の内容別月別発生件数
  - (1) 骨折の月別発生件数
  - (2) 打撲の月別発生件数
  - (3) 誤薬の月別発生件数
  - (4) 無断外出の月別発生件数
  - (5) 誤嚥の月別発生件数と重症化
- 4 骨折と打撲における受傷部位
- 5 事故の施設別発生件数
- 6 事故の発生事例

Ⅱ　令和6年度の重大事故
- 1 重大事故・死亡事故の割合
- 2 重大事故の内容
- 3 重大事故の月別発生件数
- 4 重大事故の施設別発生件数

Ⅲ 年度比較
- 1 事故報告件数の年度推移
- 2 事故の内容

Ⅳ その他
- 1 対象施設一覧

北海道保健福祉部

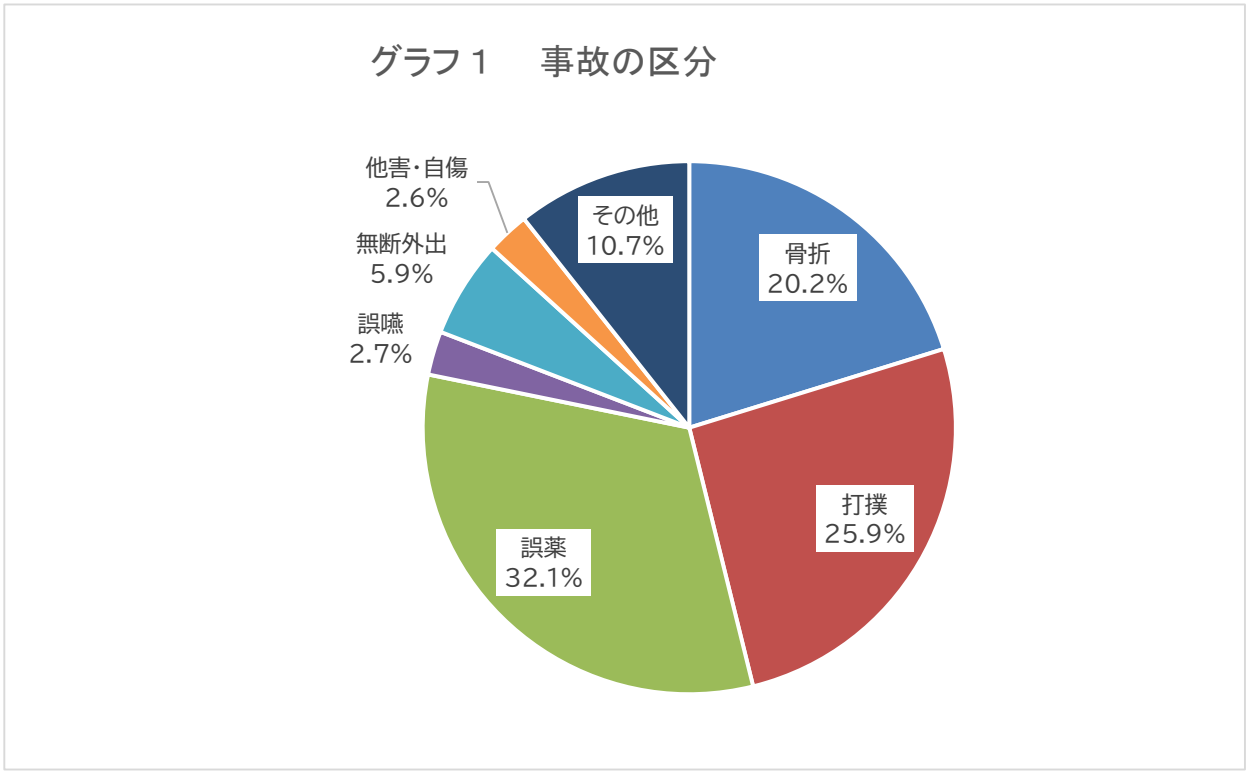
Ⅰ　令和6年度の状況

1. 事故の内容

表1　事故の区分　　（単位：件、%）

区　分	件数	構成比
骨折　※1	412	20.2
打撲　※2	528	25.9
誤薬	653	32.1
誤嚥　※3	54	2.7
無断外出	120	5.9
他害・自傷	53	2.6
その他	217	10.7
合　計	2,037	100.0

※1　骨折：骨折のほか、腱断裂など全治1ヶ月以上の重傷を含む。
※2　打撲：打撲のほか、裂傷・擦過傷・切傷・刺傷などで、全治1ヶ月未満の軽傷を含む。
※3　誤嚥　：　誤嚥のほか、誤飲、誤食を含む。



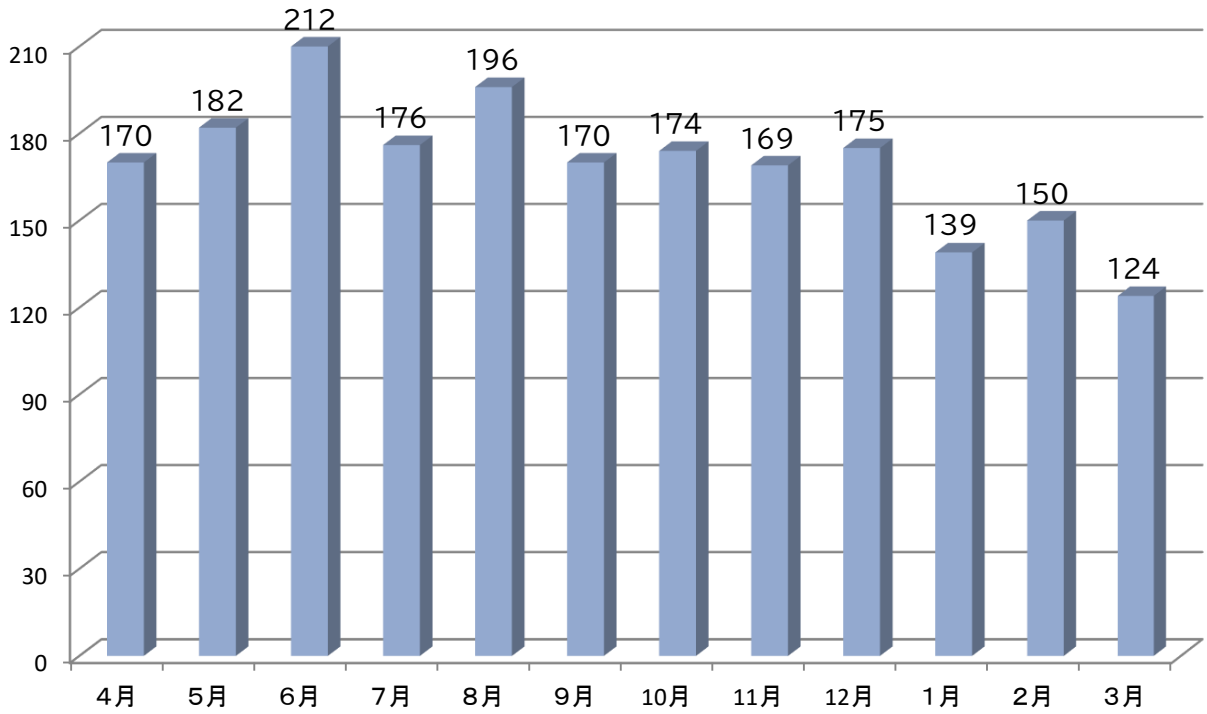
令和6年度の事故報告総数は2,037件であり前年度（1,870件）に比べ8.9%増加した。事故で最も多かったのは、「誤薬」の653件（32.1%）で、次いで「打撲」が528件（25.9%）、「骨折」が412件（20.2%）となっている。

2. 事故の月別発生件数

表2　事故の月別発生件数　（単位：件、%）

月	件数	構成比
4月	170	8.3
5月	182	8.9
6月	212	10.4
7月	176	8.6
8月	196	9.6
9月	170	8.3
10月	174	8.5
11月	169	8.3
12月	175	8.6
1月	139	6.8
2月	150	7.4
3月	124	6.1
合　計	2,037	100.0

グラフ2　　事故の月別発生件数



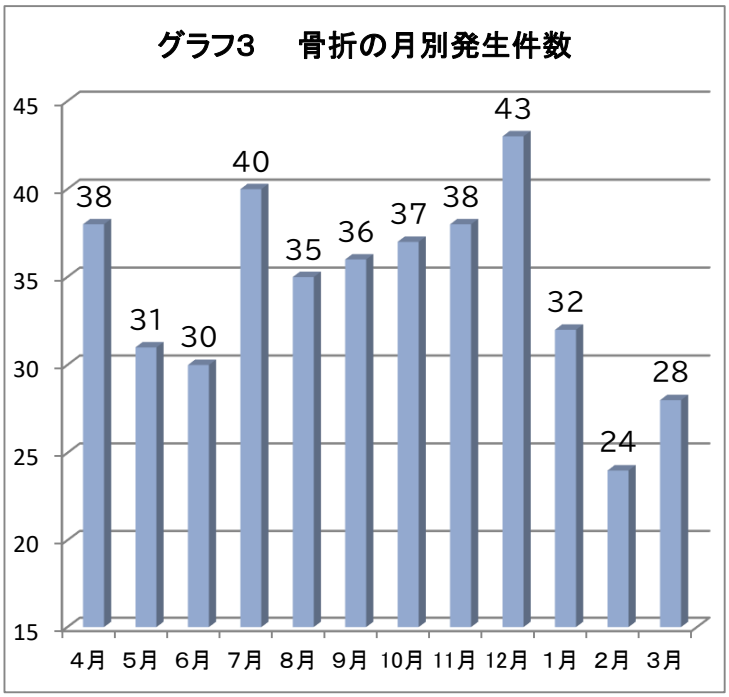
事故の月別発生件数は、6月が212件と最も多く、次いで8月が196件となっている。

3. 事故の内容別月別発生件数

(1) 骨折の月別発生件数(表3)

(単位:件、%)

月	件数	構成比
4月	38	9.2
5月	31	7.5
6月	30	7.3
7月	40	9.7
8月	35	8.5
9月	36	8.7
10月	37	9.0
11月	38	9.2
12月	43	10.4
1月	32	7.8
2月	24	5.8
3月	28	6.8
合　計	412	100.0

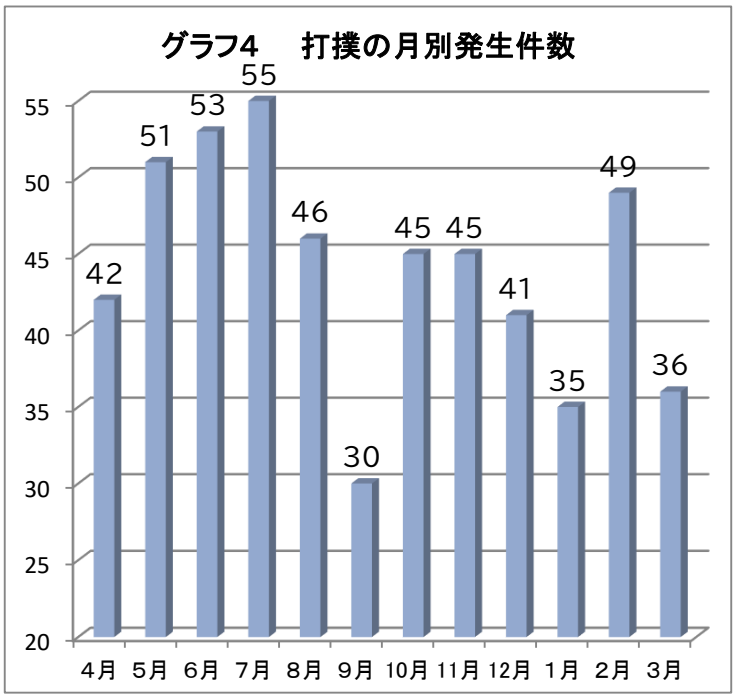


骨折の月別発生件数は、12月が43件と最も多く、2月が24件で最も少なかった。

(2) 打撲の月別発生件数(表4)

(単位:件、%)

月	件数	構成比
4月	42	8.0
5月	51	9.7
6月	53	10.0
7月	55	10.4
8月	46	8.7
9月	30	5.7
10月	45	8.5
11月	45	8.5
12月	41	7.8
1月	35	6.6
2月	49	9.3
3月	36	6.8
合　計	528	100.0

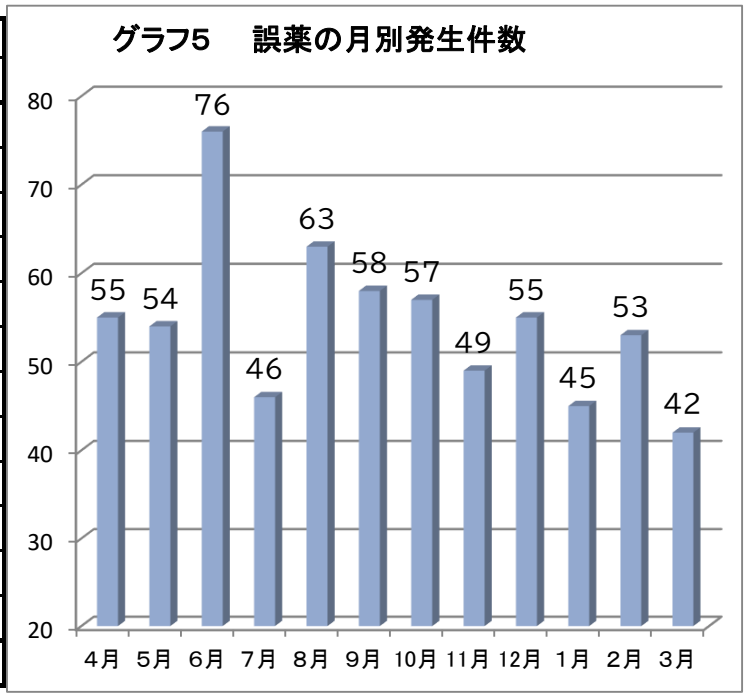


打撲は、6月が55件と最も多く、9月が30件で最も少なかった。

(3) 誤薬の月別発生件数(表5)

(単位:件、%)

月	件数	構成比
4月	55	8.4
5月	54	8.3
6月	76	11.6
7月	46	7.0
8月	63	9.6
9月	58	8.9
10月	57	8.7
11月	49	7.5
12月	55	8.4
1月	45	6.9
2月	53	8.1
3月	42	6.4
合　計	653	100.0

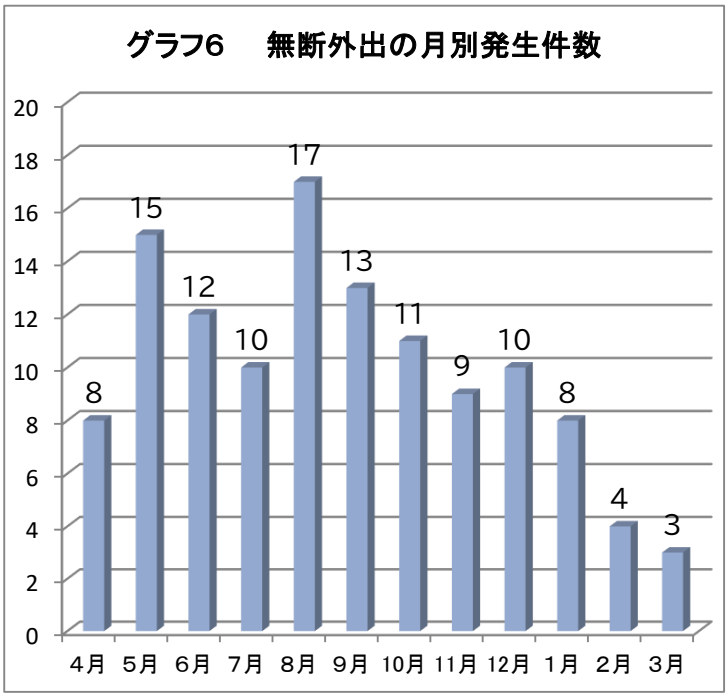


誤薬の年間発生件数は、6月が76件と最も多く、3月が42件と最も少なかった。

(4) 無断外出の月別発生件数(表6)

(単位:件、%)

月	件数	構成比
4月	8	6.7
5月	15	12.5
6月	12	10.0
7月	10	8.3
8月	17	14.2
9月	13	10.8
10月	11	9.2
11月	9	7.5
12月	10	8.3
1月	8	6.7
2月	4	3.3
3月	3	2.5
合　計	120	100.0



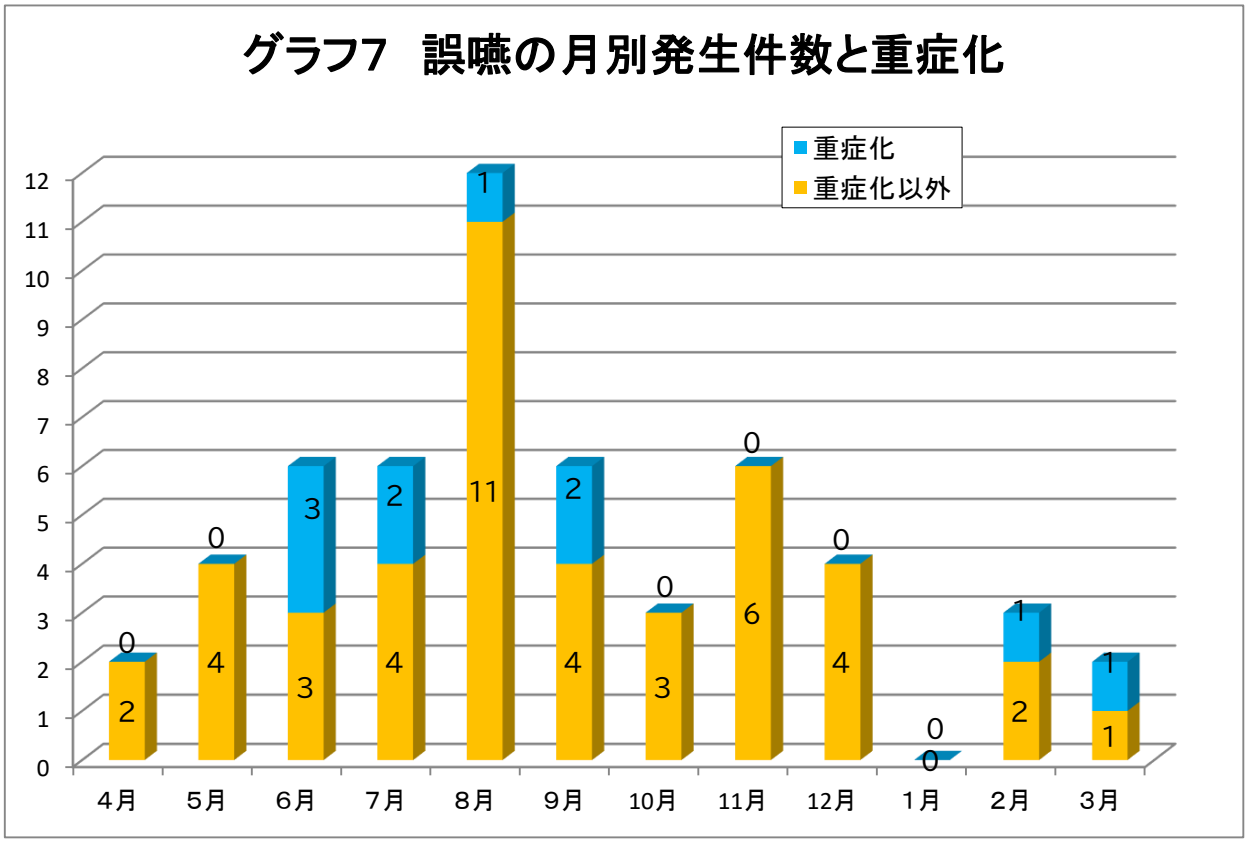
無断外出は、8月が17件と最も多く、3月が3件で最も少なかった。

(5) 誤嚥の月別発生件数と重症化(表7)

（単位：件、%）

月	件数	左の内訳		
		重症化以外	重症化	重症化の割合
4月	2	2	0	0.0
5月	4	4	0	0.0
6月	6	3	3	50.0
7月	6	4	2	33.3
8月	12	11	1	8.3
9月	6	4	2	33.3
10月	3	3	0	0.0
11月	6	6	0	0.0
12月	4	4	0	0.0
1月	0	0	0	0.0
2月	3	2	1	33.3
3月	2	1	1	50.0
合　計	54	44	10	18.5

※　重症化　：　死亡や誤嚥性肺炎による入院など



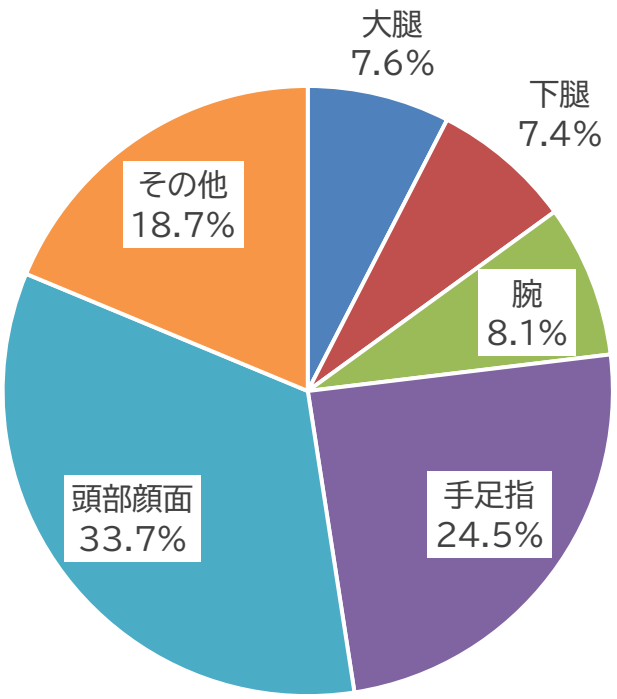
誤嚥の月別発生件数は、8月は12件と最も多く、1月が0件で最も少なかった。また、全体に占める重症化の割合は18.5%となっている。

4. 骨折と打撲における受傷部位

表8　骨折と打撲における受傷部位　　（単位：件、%）

区　分	件数	構成比	左の内訳			
			骨折		打撲	
			件数	構成比	件数	構成比
大腿	71	7.6	61	14.8	10	1.9
下腿	70	7.4	31	7.5	39	7.4
腕	76	8.1	48	11.7	28	5.3
手足指	230	24.5	146	35.4	84	15.9
頭部顔面	317	33.7	13	3.2	304	57.6
その他	176	18.7	113	27.4	63	11.9
合　計	940	100.0	412	100.0	528	100.0

グラフ8　骨折と打撲における受傷部位



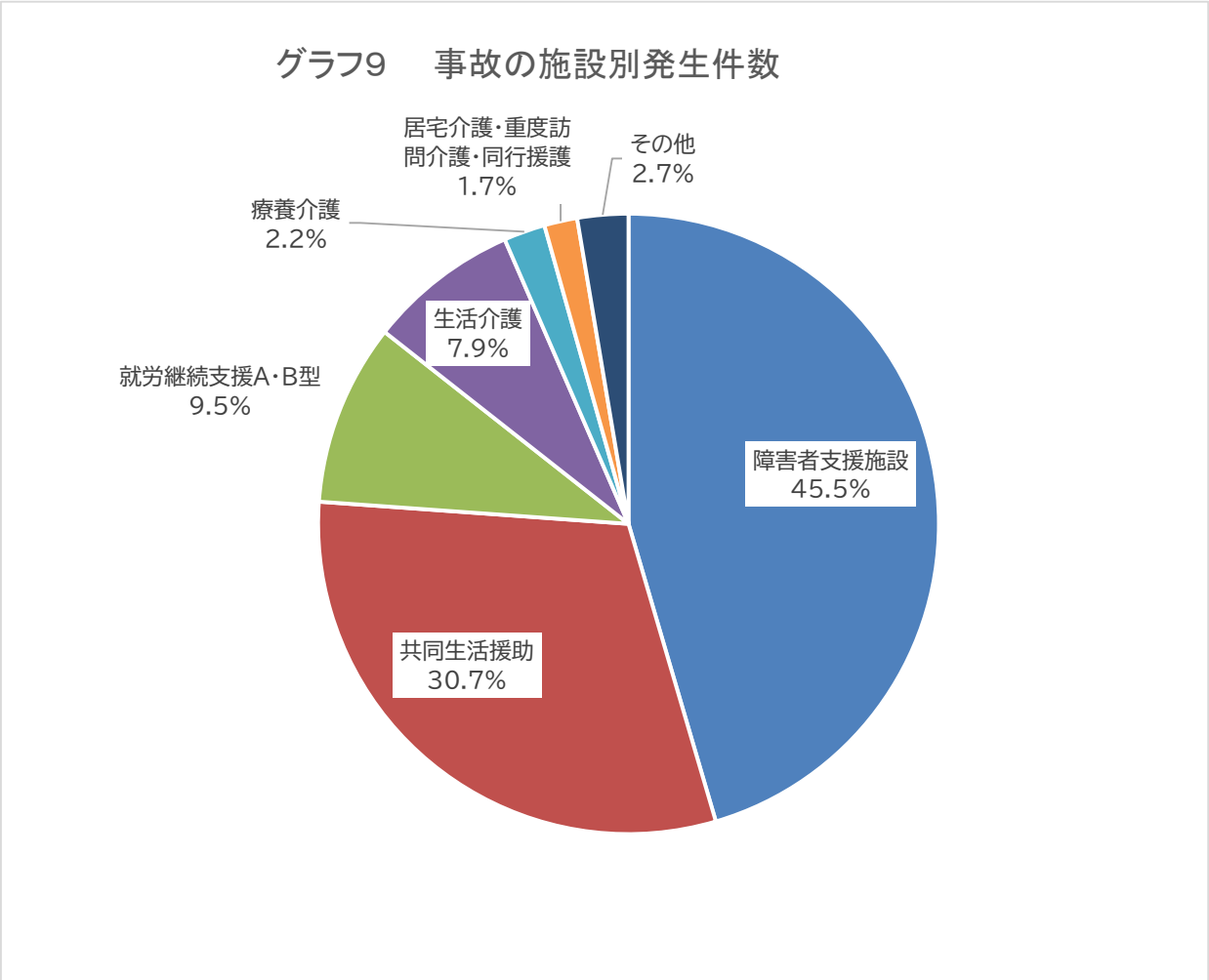
骨折と打撲における主な部位では、「頭部顔面」が全体の33.7%（317件）で最も多かった。

また、骨折の受傷部位は「手足指」が35.4%(146件）と最も多く、打撲の受傷部位は「頭部顔面」が57.6%（304件）と最も多かった。

5. 事故の施設別発生件数

表9　事故の施設別発生件数　　（単位：件、%）

区　分	件数	構成比
障害者支援施設	926	45.5
共同生活援助	625	30.7
就労継続支援A・B型	193	9.5
生活介護	160	7.9
療養介護	44	2.2
居宅介護・重度訪問介護・同行援護	35	1.7
その他	54	2.7
合　計	2,037	100.0



事故の施設別発生件数は、「障害者支援施設」におけるものが45.5%（926件）で最も多く、次いで、「共同生活援助」の発生件数が、30.7%（625件）となっている。

６ 事故の発生事例

（1） 骨折・打撲

施設区分	事　故　概　要
就労継続支援A型	作業中にバランスを崩し転倒。医療機関受診し、左足小指部の骨折と診断。
共同生活援助	椅子から立ち上がった際にバランスを崩し、左半身を下にして転倒。医療機関受診し、左大腿骨頸部骨折と診断され入院。
障害者支援施設	バランスボールに座りテレビを見ている際に，バランスを失い左足を捻り左足第5指中指骨骨折。
障害者支援施設	運動器具のコードに足が引っ掛かり転倒し、右手を打撲。
障害者支援施設	入浴介助時、シャワーチェアから落ち、右前頭を打撲・裂傷。
就労継続支援B型	施設外就労先にて、パレットが右足の上に滑り落ち打撲。

（2） 誤薬・誤嚥

施設区分	事　故　概　要
共同生活援助	二人分の薬をテーブルに置いていたところ、他利用者と会話をしている間に、誤って二人分を飲んでしまった。
障害者支援施設	他入居者の薬を服薬させ、その後更に本人の薬を服薬。医療機関に連絡し、経過観察の指示。体調に変化なし。
障害者支援施設	昼食をかき込み飲み込もうとしたため、むせて喉に詰まったような状態になる。直ぐに背中タッピングを行い解消。
障害者支援施設	他利用者の緊急対応のため支援員不在となったとき、残飯を摂取し誤嚥。重篤化なし。
生活介護	昼食時にプラスチック製の箸の先端1.5cm程を誤って飲み込んでしまう。病院受診し、排泄物として排泄されるとのこと。

（3） 無断外出

施設区分	事　故　概　要
障害者支援施設	ハウスでの活動中に無断外出し、職員により近くの公園で発見される。
共同生活援助	利用者が朝食後に無断外出。近くの民家に利用者が駆け込み、民家の家主が警察に通報し、警察に連れられGHへ帰宅。
共同生活援助	利用者が不穏になり行方不明。市内で発見され、処方薬を大量摂取していた。特変なし。

（4） その他

施設区分	事　故　概　要
生活介護	送迎中、右折しようとした際に後続車から追い抜きをかけられ追突された。けが人なし。
就労継続支援B型	外出先で利用者を乗せ忘れ送迎車が出発してしまい、約2時間所在不明となった。利用者は外出先から徒歩で自宅に戻っていた。
共同生活援助	コンロに鍋をかけたまま会議に出席し空焚きとなる。発火はしなかったが自動火災通報装置により消防隊が出動。

Ⅱ　令和6年度の重大事故

1．重大事故、死亡事故の割合

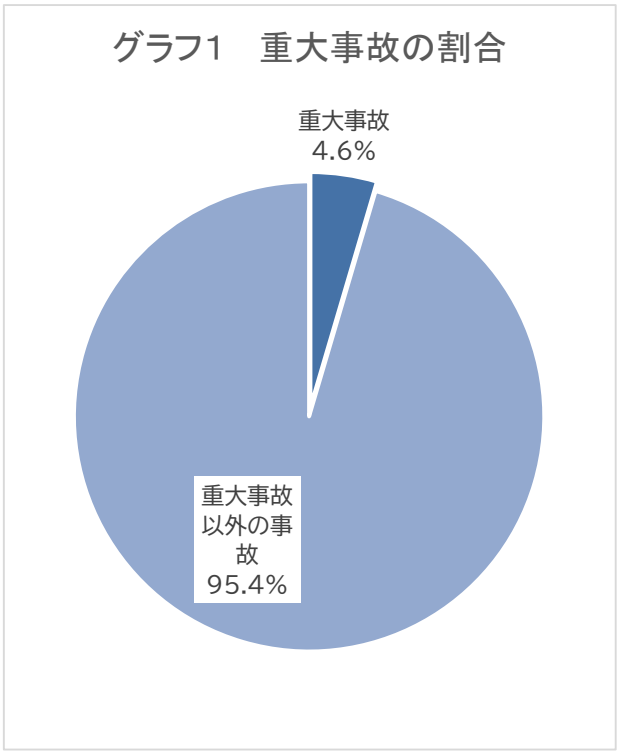
表1　重大事故の割合　　（単位：件、%）

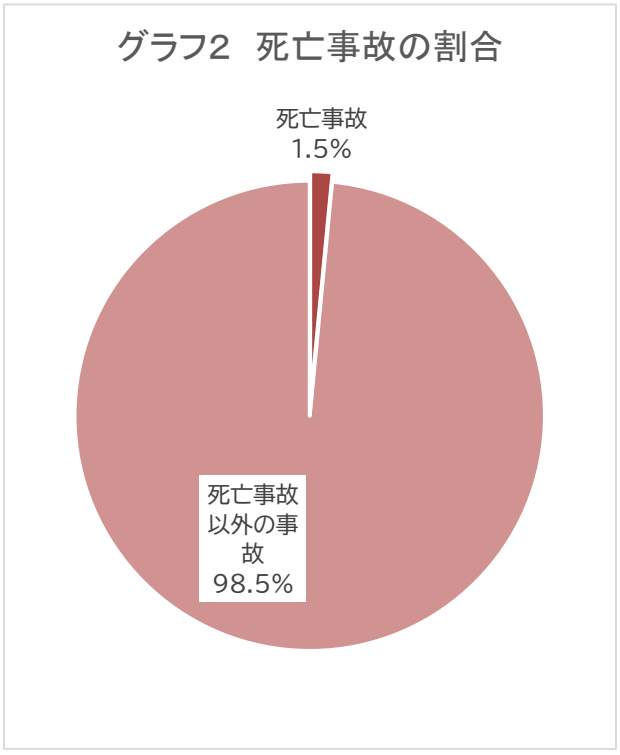
区　分	件数	構成比
重大事故	93	4.6
重大事故以外の事故	1,944	95.4
合　計	2,037	100.0

※　重大事故　：　死亡事故、不法行為、虐待、行方不明等

表2　死亡事故の割合　　（単位：件、%）

区　分	件数	構成比
死亡事故	31	1.5
死亡事故以外の事故	2,006	98.5
合　計	2,037	100.0



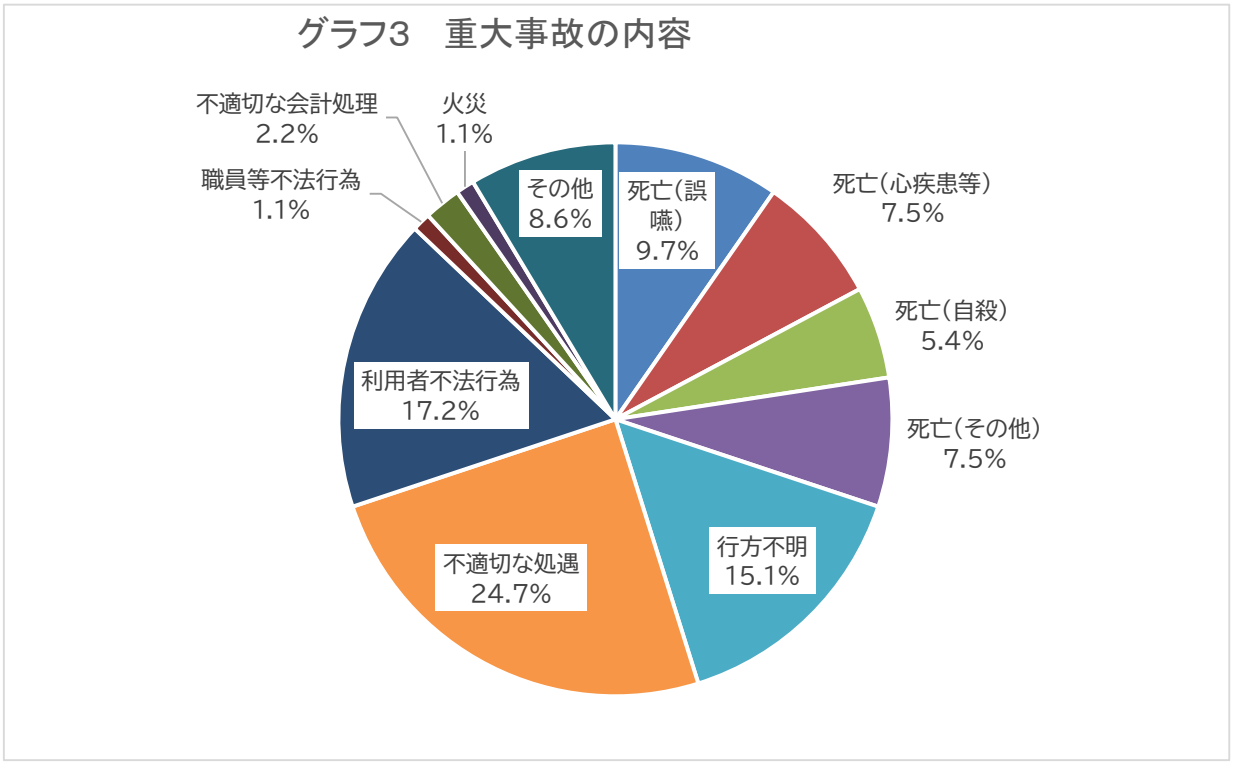


　重大事故の事故報告総数は93件で、全体に占める割合は、4.6%であり、老人施設等（1.5%）と比べて高い割合になっている。
　また、死亡事故の事故報告総数は31件で、全体に占める割合は1.5%、重大事故に占める割合は33.3%となっている。

2. 重大事故の内容

表3　重大事故の内容　　（単位：件、%）

区　分	件数	構成比	
死亡（誤嚥）	9	9.7	
死亡（脳出血、心疾患等）	7	7.5	
死亡（自殺）	5	5.4	
死亡（その他）	7	7.5	
行方不明	14	15.1	※内、3件死亡事故
不適切な処遇	23	24.7	
利用者不法行為	16	17.2	
職員等不法行為	1	1.1	
不適切な会計処理	2	2.2	
火災	1	1.1	
その他	8	8.6	
合　計	93	100.0	

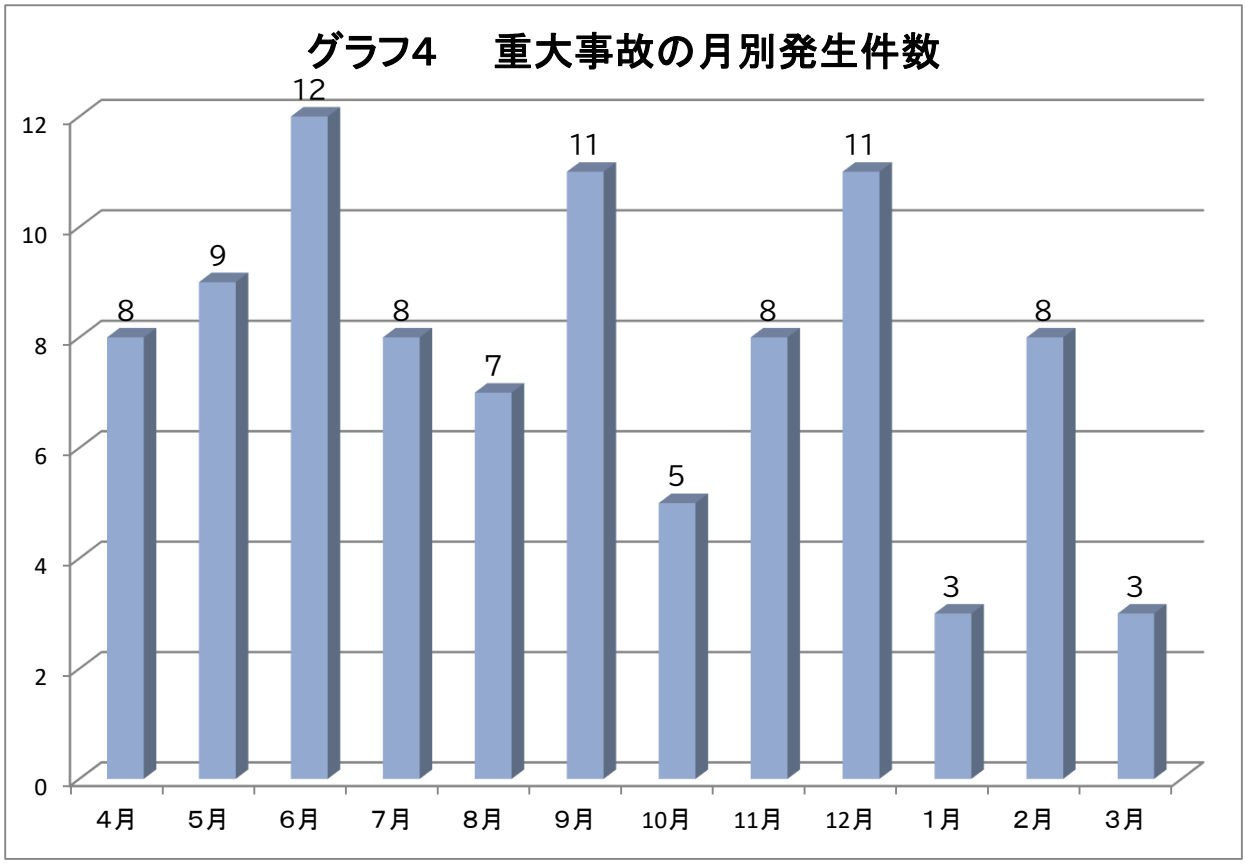


重大事故の内容については、「不適切な処遇」が最も多く全体の24.7%（23件）を占め、次いで「利用者不法行為」が17.2%（16件）となっている。

3. 重大事故の月別発生件数

表4　重大事故の月別発生件数　（単位：件、%）

月	件数	構成比
4月	8	8.6
5月	9	9.7
6月	12	12.9
7月	8	8.6
8月	7	7.5
9月	11	11.8
10月	5	5.4
11月	8	8.6
12月	11	11.8
1月	3	3.2
2月	8	8.6
3月	3	3.2
合　計	93	100.0



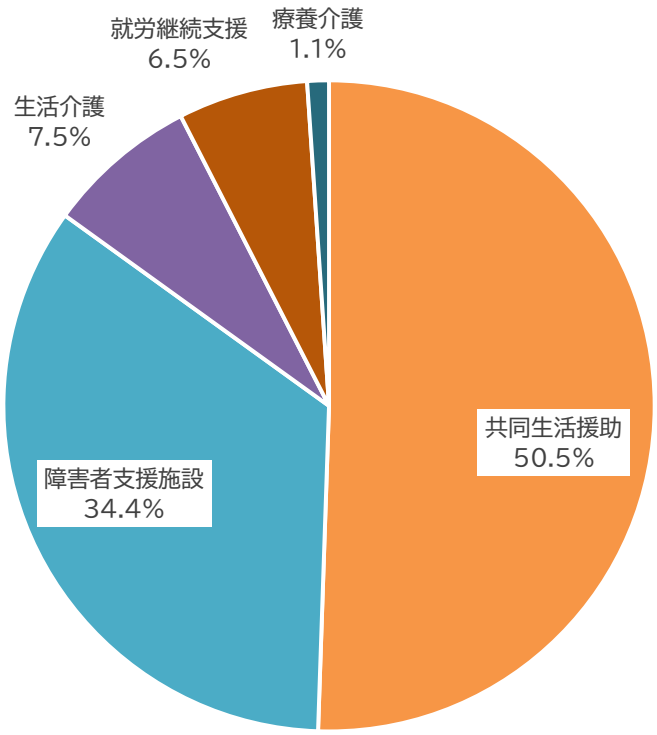
重大事故の月別発生件数は、6月が12件と最も多く、最も少ないのは1月と3月の3件となっている。

4. 重大事故の施設別発生件数

表5　重大事故の施設別発生件数　（単位：件、%）

区　分	件数	構成比
共同生活援助	47	50.5
障害者支援施設	32	34.4
生活介護	7	7.5
就労継続支援	6	6.5
療養介護	1	1.1
合　計	93	100.0

グラフ5　重大事故の施設別発生件数



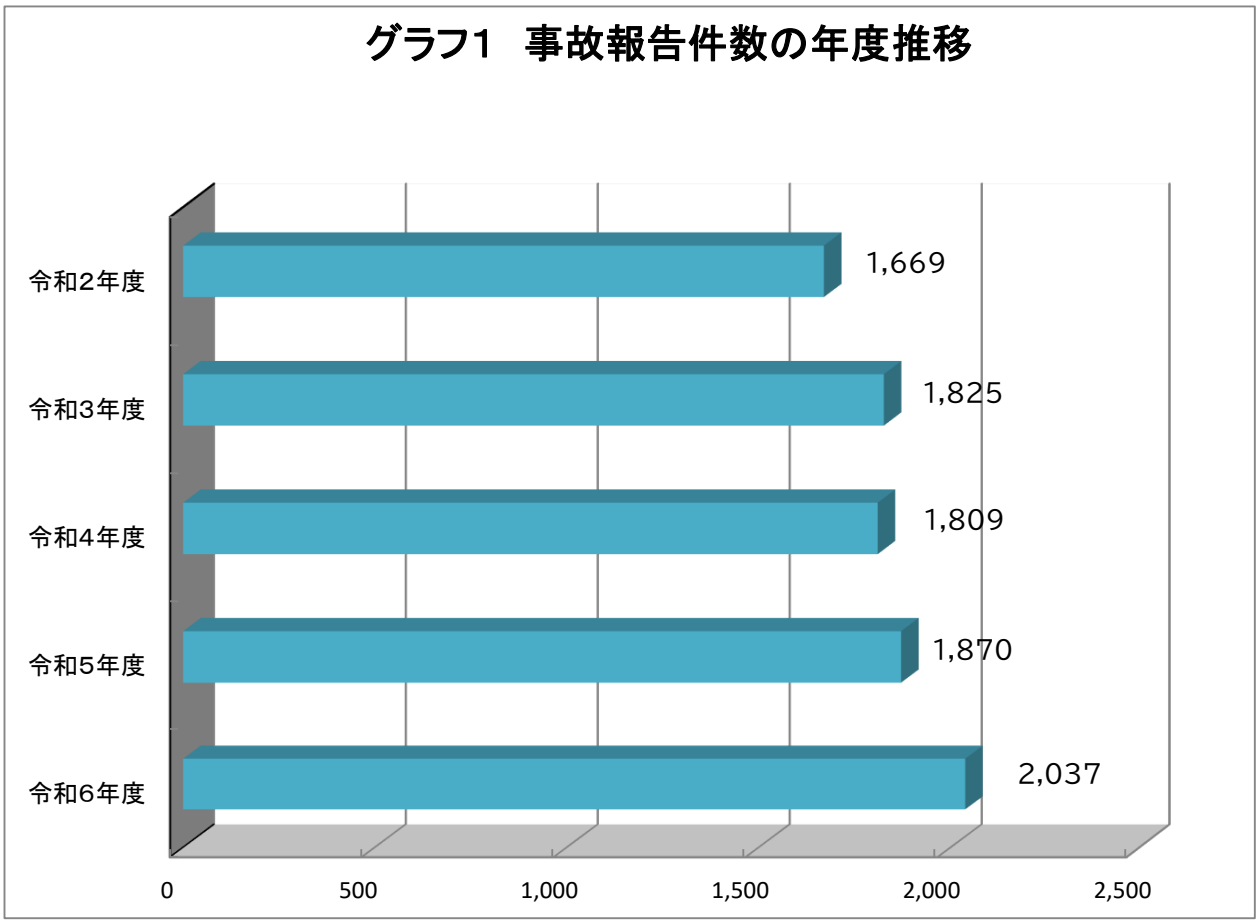
重大事故の施設別発生件数は、「共同生活援助」が47件（50.5%）、「障害者支援施設」が32件（34.4%）と多く、あわせて全体の約8割を占めている。

Ⅲ　年度比較

1．事故報告件数の年度推移

表1　事故報告件数　　（単位：件、%）

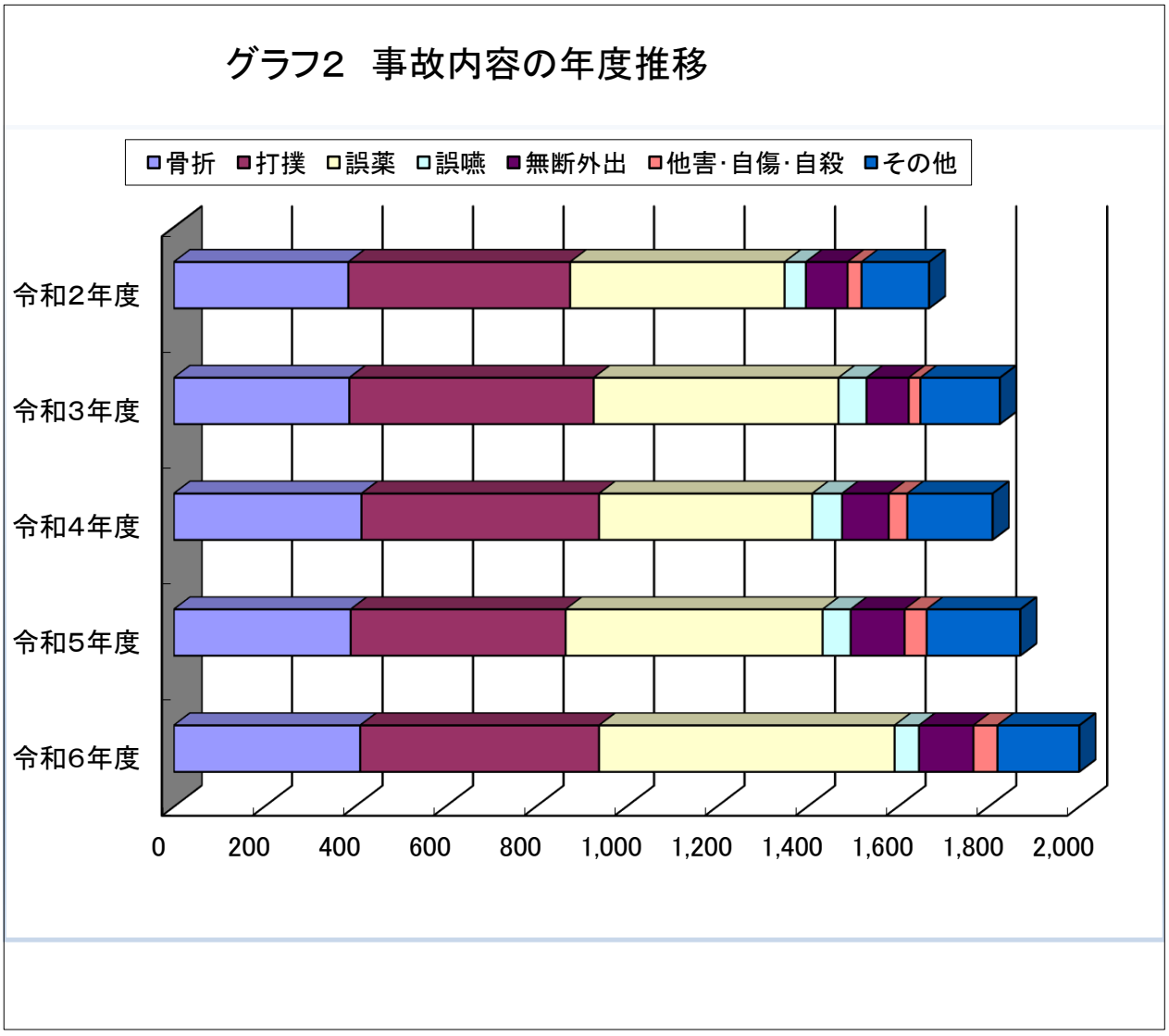
区　分	件数	対前年比
令和6年度	2,037	108.9%
令和5年度	1,870	103.4%
令和4年度	1,809	99.1%
令和3年度	1,825	109.3%
令和2年度	1,669	97.4%



2. 事故の内容

表2　事故内容の年度推移　　（単位：件）

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
骨折	386	388	415	391	412
打撲	490	540	525	475	528
誤薬	474	541	471	568	653
誤嚥	47	62	66	62	54
無断外出	92	93	103	119	120
他害･自傷･自殺	31	26	41	49	53
その他	149	175	188	206	217
合計	1,669	1,825	1,809	1,870	2,037



Ⅳ その他

1. 対象施設一覧

居宅介護
重度訪問介護
同行援護
行動援護
療養介護
生活介護
短期入所
重度障害者等包括支援
自立訓練（機能訓練）
自立訓練（生活訓練）
就労移行支援
就労継続支援A型
就労継続支援B型
共同生活援助
障害者支援施設
一般相談支援
特定相談支援
移動支援
地域活動支援センター
福祉ホーム
盲人ホーム
その他